

秋どり玉レタスの播種適期幅が広い優良品種の選定

片山貴雄・林田達也・尾形武文¹⁾
(福岡県農業総合試験場豊前分場・¹⁾福岡県農業総合試験場)Takao KATAYAMA, Tatsuya HAYASHIDA and Takefumi OGATA :
Selection of Cultivar in Fall Cropping Type Lettuce

福岡県の水稲後作玉レタスの秋どり栽培では、現在、8月上・中旬播きと9月上旬播きで生理生態の異なる4品種が使い分けされている。8月上・中旬播きに用いられている晩抽性のマックスソイル系の品種は高温により中肋が突出しやすく、気温が低いと球の肥大が不良になりやすい。逆に、9月上旬播きに用いられているサリナス系の品種は晩抽性ではないため、秋季に気温が高い年には不時抽だいが発生して、問題になっている。

このため播種適期幅が広く、高品質で作柄が安定した秋どり玉レタス品種を選定する。

1. 材料および方法

1) 試験1

晩抽性で中肋が突出しにくく、茎長の短い品種の選定を目的に、県内で用いられている4品種「オリンピア」、「シャン」、「しずか」、「シスコ」を含む玉レタス42品種を供試した。1999年8月27日に播種し、9月14日に定植した。栽植密度は649株/aとし、露地マルチ栽培を行った。施肥量はN、P₂O₅、K₂Oで各1.8kg/aとした。試験は1区15株、3反復で行った。

2) 試験2

上記の4品種と試験1で有望であった11品種の計15品種を供試し、8月中旬から9月上旬までの播種期に適応性が高い品種を選定するために、播種期を2水準設けて、生育、収量の安定性を検討した。2000年8月10日と9月11日に播種し、各々9月11日、10月5日に定植した。栽植密度、施肥量は試験1と同等とした。試験は1区12株、3反復で行った。

調査は、2カ年とも最大葉の縦と横、球重、球の高さと径、突出している中肋の数と指数、茎長、球形、収量、収穫期間について行った。中肋指数の測定は安場ら¹⁾に準じ、ノギスの間隔を30mmとりその間に糸を張り、

レタスの中肋の最も出ている部分に当てノギスの値を読みとることで評価した。球形については農林水産省の遺伝資源特性調査マニュアルに従って調査を行った。

2. 結果および考察

1) 試験1

収量、中肋の突出の程度を示す中肋の数と指数、抽だいの程度を表す茎長から判断して「カイザー」、「からさわ」、「キャスパー」、「マイヤー」、「サルバドール」を含む11品種が秋どり栽培に有望であった(データ略)。

2) 試験2

8月10日播きでは、「サクセス」、「サルバドール」、「パトリオット」、「マイヤー」、「からさわ」、「キャスパー」、「スマート」の7品種が、また9月11日播きでは「サクセス」、「サルバドール」、「パトリオット」、「マイヤー」、「オーガスター」、「カイザー」、「からさわ」、「キャスパー」、「グリーンラップ」、「スマート」の10品種が、茎長が短く、中肋の突出程度が小さく、収量が多かった(第1表)。

次に、8月10日播きと9月11日播きにおける生育、収量の変動をみるために、球重と収量のt検定を行った。その結果、「サクセス」、「サルバドール」、「パトリオット」、「マイヤー」の4品種は球重、収量に有意差が認められず、播種時期による形質の変動が認められなかった(第1表)。

以上の結果、「サクセス」、「サルバドール」、「パトリオット」、「マイヤー」の4品種が品質、収量が優れ、播種適期幅が広く、8月中旬から9月上旬播き栽培に適応性が高いと考えられた。

引用文献

- 1) 安場健一郎・古谷茂貴：園芸学会雑誌 68 別冊 1, 99, 1999.

第1表 レタスの品種、播種時期別の球重、中肋、茎長および収量 (2000年)

品種	8月10日播き				9月11日播き				t検定結果 ¹⁾	
	球重(g)	中肋指数 ²⁾	茎長(cm)	収量 ³⁾ (kg/a)	球重(g)	中肋指数 ²⁾	茎長(cm)	収量 ³⁾ (kg/a)	球重	収量
サクセス	408	17.3	4.3	242	395	20.6	1.7	257	—	—
サルバドール	362	17.5	4.4	217	337	22.1	1.8	210	—	—
パトリオット	382	16.2	3.8	236	359	20.8	1.9	222	—	—
マイヤー	356	16.8	3.5	221	341	23.9	1.8	185	—	—
(対照品種)										
オリンピア	400	12.0	5.3	97	337	20.6	1.9	210	—	*
シャン	405	16.2	4.8	178	339	18.4	1.8	171	*	—
しずか	396	12.8	10.3	0	475	14.7	3.2	282	*	*
シスコ	368	12.1	8.5	0	461	13.3	3.6	250	*	*

注) ¹⁾ 中肋の測定は安場ら¹⁾の方法による

指数が12以下では中肋の突出程度が高く、18以上は中肋が出ていない

²⁾ 収量は球重230g以上で、球形が4以下で茎長が5cm以下のものについて算出した

³⁾ t検定は8月10日播きと9月11日播きの球重、収量について行った。*はt検定により5%で有意差あり